

## 1. 教育の責任

経営学部の教員として、主として、経営学部マーケティング科目と共通科目のキャリアデザインを担当している。その他、現代社会学部、国際日本学部、健康栄養学部のマーケティングなどに関する関係科目を担当している。

- ◆担当授業：経営学部/マーケティング入門、実践演習マーケティング I（マーケティング）、食のマーケティング、サービス経営、共通科目/キャリアデザイン I、II、現代社会学部/マーケティング、マーケティングリサーチ、国際日本学部/フードシステムを考える、健康栄養学部/商品開発論（一部）

## 2. 教育の理念

授業を通じて、次のことを重視し、視野が広がり、成長へつなげる支援ができることを念頭にしている。

- ◆生涯学び続けることの大切さ  
建学の精神でもある「STUDY FOR LIFE（生涯にわたる、人生のための学び）」を将来にわたって実践し、学ぶことが自由と豊かさをもたらすということの気づきを促すことを重視している。
- ◆社会とのかかわりを知り、自らの選択が重要であることを理解する。  
専門科目であるマーケティングなどの授業を通して、企業だけでなく、私たち自身が消費者として、日々の意思決定を通じて、社会を挙げていることを理解し、将来において、社会に貢献できるよう成長することを支援することを重視している。

## 3. 教育の方法

- ◆知識の習得と実践的な学びができるような機会・場をつくる  
授業は、原則として、教員が作成した資料等に基づき、事例を踏まえて説明するなど、わかりやすい授業の進行を心掛けている。その上で、課題やグループワークでの活動、授業内での議論などを通して、学んだ知識を実際に活用できるように、その機会と場を作る工夫をし、リーダーシップなどの行動面での成長も促すよう努めている。また、より新しく実践的な知識を習得できるよう、企業で活躍しているゲストを招聘し、学んだ知識が実際にどのように活用されているかを学ぶ。なお、授業は、課題などを共有し、履修生全体で補完し合い、学生がより積極的に授業に参加できるよう心掛けている。
- ◆自らの専門分野における自身の成長  
学生の成長に貢献できるよう、研究や学会、ワークショップなどの積極的に参加し、常に自身の知識の習得を心掛けている。

## 4. 教育の成果

- ◆学生の評価  
課題を通して、学生自身がマーケティング活動の担い手であることを実感できるようになった、また、マーケティングリサーチでは、ヒアリングやリサーチ結果を通して、将来にわたり継続して学ぶことの大切さ、学ぶことの楽しさを理解できたと、学生の評価を得た。

## 5. 改善への努力と今後の目標

今後の目標は、teams などのデジタル媒体を積極的に活用し、学生が主体となって、自ら調べる、議論するなど、履修生全体で、また、教員と双方向で学ぶ授業を目指したいと考えている。

### 【添付資料】